

●各商品個別の注意事項は、各商品ごとの「正しくお使いください」をご覧ください。

警告

通電中のコンタクタの端子部(充電部)には触らないでください。
感電事故の原因となります。



安全上の要点

- ・コンタクタの開閉容量などの定格値を超える負荷に対しては、絶対に使用しないでください。規定の性能を損なうばかりでなく、コンタクタ自体の破損、焼損の原因となります。
- ・コンタクタの開閉耐久性は、開閉条件により大きく異なります。使用にあたっては、必ず実使用条件にて実機確認を行い、性能上問題のない開閉回数内にてご使用ください。性能の劣化した状態で引き続き使用された場合、最終的には回路間の絶縁破壊やコンタクタ自体の焼損の原因となります。
- ・コイルへの誤電圧印加および誤配線は、絶対にしないでください。誤使用の場合、コンタクタの規定の性能が発揮されず、外部回路へ影響を与えるだけでなく、コンタクタ自体の破損・焼損の原因となります。
- ・引火性ガス、爆発性ガスなどの雰囲気中でコンタクタを使用しないでください。開閉にともなうアークやコンタクタの発熱などにより、発火または爆発の原因となります。
- ・接点トラブル(溶着、接触不良)により、二次災害の恐れがある場合には、フェールセーフなどの安全対策を考慮した回路構成としてください。
- ・コンタクタとサーマルを組み合わせたものに短絡電流を流さないでください。短絡電流によりサーマルの検出部の破損の原因となります。ブレーカ、ヒューズなどによる短絡保護回路を必ず付加してください。
- ・落下させたり内部を分解したコンタクタやサーマルは使用しないでください。特性を満足しないばかりか焼損・誤動作の原因となります。
- ・コンタクタへの配線、交換作業時には、必ずコイル側および負荷側の電源をオフにして、安全を確認のうえ作業を実施ください。
- ・コンタクタの手動操作は行わないでください。接点のチャタリングによる溶着や、開閉にともなうアークによりやけどの原因となります。